ベネディクト・クレックナー（チェロ）

Benedict Klöckner, Cello

1989年生まれ。バレンボイムとラトルに絶賛され、ほかにもエッシェンバッハらの指揮のもと、ロイヤル・フィルやライプツィヒMDR響などと共演。ソロのほか、アックスやA.シフ、クレーメルらの超一流奏者と室内楽をし、ベルリン・フィルハーモニーやウィーン楽友協会などの主要音楽ホールに出演している。

現代音楽にも力をいれ、藤倉大のチェロ協奏曲のほか、リーム、ゴードン、タンギーらの曲を初演。

2021/22年シーズンには、ベルリンやカーネギーホールなどでJ.S.バッハの無伴奏チェロ組曲全曲演奏を行う。21年6月には小菅優との室内楽プロジェクトで、日本デビューを果たした。

録音も多く、国際的メディアからの評価も高い。

使用楽器は、かつてジャンドロンが演奏していたイタリア製のフランチェスコ・ルジェッリ（1680）。